7月の園だより

立場らびっと保育園

これから梅雨も明け、本格的に夏の暑さになってきます。保育園では、「水あそび」が始まります。全身で水の気持ちよさを感じて、楽しんで過ごしたいと思います。
また、夏の病気もいろいろ出てくる季節です。「ふだんと違う」小さなサインを見逃さないように　気を付けていきたいですね。。

7月の行事予定

- ☆ 3日(月)～　水あそび開始(0歳児は沐浴)
- ☆ 4日(火)、18日(火)　リトミック
- ☆ 7日(金)　七夕集会　10:30～10:45
- ☆ 13日(木)、25日(火)　リトミック
- ・いづみ幼稚園との交流会　(1．2歳児)
- ・食育(1歳児)・・ジャムパンつくり　(2歳児)・・七夕そうめん(人参型ぬき)、ゼリー飾りつけ♪
- ・とうもろこしの皮むき

7月うまれのおともだち

♫ おめでとう ♫

7月8日	陽茉莉(ひまり)　ちゃん	0歳児ゆめ組
7月23日	陽光(はるき)　くん	0歳児ゆめ組

クラスの様子

0歳児(ゆめ組)

表情が豊かになり毎日楽しそうにお友だちとの関わりを楽しんでいます。保育士とのふれあい遊びでは、「バスごっこ」をうたって体を揺らして楽しむのが、大好きです。(清野)

1歳児(にじ組)

最近では、泉消防署や牛舎までお散歩にいったり、食育では食パンの型ぬきなどができるようになりました。活動範囲が広がり自分でできる事が少しずつ増えていく子だちの嬉しそうな姿がたくさん見られました。(池上)

2歳児(そら組)

子どもたちが水やりをしてくれたキュウリ、トマト、枝豆が立派に実り、収穫をみんなで始めています。　最近では給食用のパンをパン屋さんまで買いにいったりと大活躍のそら組です。お手伝いをした後の子どもたちの顔は達成感できらきらと輝いています。(池

夏に気をつけたい病気

プール熱(咽頭結膜熱)

プールに入れる条件・注意点：主要症状が消えてから、2日経過するまでは出席停止。

※かかりつけ医に相談のこと。

- 39℃前後の高熱が4～5日続く。
- 目やに、目の充血がある。
- せきが出て、のどが赤くはれて痛む。
- 頭痛、吐き気、腹痛、下痢を伴うこともある。

対処法
- タオルの共用は避け、感染者の使ったタオルなどは、熱湯消毒した後洗濯する。
- 水分摂給は十分にし、口当たりのよい食べ物を与える。

手足口病

プールに入れる条件・注意点：病後、熱がなく、ふつうに食事ができ、元気であれば…。

※かかりつけ医に相談のこと。

- 38℃前後の発熱がほとんどで、発熱しない場合もある。
- 口の中に水疱ができる。かいようになると水がしみて痛みが強くなる。
- 手のひら、足底、足背、指の間に赤くて真ん中が白い楕円形で米粒大の水疱ができる。ひじ、ひざ、でん部にも出現する。痛みやかゆみを感じることがある。

対処法
- 薄味で口当たりのよい食べ物を与える。
- 食後はぬるめのお茶などを飲ませて、口の中をきれいにする。
- しっかりと水分補給をする。

とびひ(伝染性膿痂疹)

プールに入れる条件・注意点：かさぶたができていれば…。

※かかりつけ医に相談のこと。

- 水疱の膜が破れると、中の菌を含んだ液が飛び散り広がる。
- 虫刺されのあとをかくことで、米粒大の透明な水疱ができ、しだいにうみを持って、かゆくなる。

対処法
- かさぶたができていて、皮膚が乾燥しているか、汁が出ている部分をガーゼなどで覆うことができれば、登園可能。
- つめは短く切る。
- 感染者とタオルなどの共用はやめる。
- かさぶたができるまでプールに入れない。
- 水遊びの後は、シャワー洗浄や洗生用塩素の配慮が必要。

水いぼ(伝染性軟属腫)

プールに入れる条件・注意点：つぶれてしまっているときは、プールは避ける。(プールでの感染はない)

※かかりつけ医に相談のこと。

- 1～2㎜程度のブツブツができる(真ん中にへこみがあり、硬くてつやがあり、皮膚と同色)。しばらくすると3～4㎜になる。
- わきの下、わき腹、足の付け根など、皮膚と皮膚がこすれ合うところによくでき、体中に広がる。
- 痛みはないがかゆみを伴うこともある。

対処法
- ほうっておくと体中に広がるので、ひとつでも水いぼを見つけたら、医師の診断を受ける。
- プールでの感染はないが、つぶれてしまっているときは、プールは避ける。
- タオルやビート板などを介しての感染があるので、共用は避け、プールの前後非をよく洗い流す。

ヘルパンギーナ

プールに入れる条件・注意点：病後、熱がなく、ふつうに食事ができ、元気であれば…。

※かかりつけ医に相談のこと。

- 39℃前後の高熱。
- 水分補給をいやがり、脱水症状を起すこともある。
- のどに小さな赤い水疱ができ、のどが痛むため食欲が落ちる。

対処法
- のどの痛みが強いため、熱い物や冷たすぎる物、酸味のある物や塩味のきつい物などの刺激の強い物は避ける。
- 痛みが強いときは、かまずに飲み込める食べ物にする。
- しっかりと水分補給をする。

はやり目(流行性角結膜炎)

プールに入れる条件・注意点：結膜炎の症状が消失し、医師の周囲への感染がなくなったと判断するまでは出席停止。

※かかりつけ医に相談のこと。

- 目が充血し、目が開けられないほどはれ、涙が出る。
- 炎症が結膜だけでなく、角膜まで及ぶ。
- まぶたの裏に小さなブツブツができる。
- 耳前リンパ節がはれて熱が出ることもある。

対処法
- 目を触らせないように注意し、せっけんでしっかり手を洗わせる。
- 目に触れる物の共用は避け、感染者が触った物は、せっけんで洗ったり、消毒したりする。